

病害虫発生予察注意報第 5 号

佐賀県

県内各地でタマネギべと病の一次感染株が散見され、一部圃場では、二次感染株を確認しました。さらに、気象予報では、本病菌による感染が起きやすい条件となっていることから、以下を参考に、防除対策を徹底してください。

作物名：タマネギ（早生及び中晩生品種）

病害虫名：べと病

1. 注意報の内容

発生地域：県内全域

予想される発生量：平年より多い



写真1 一次感染株
(令和3年3月3日撮影)



写真2 二次感染株
(令和3年3月3日撮影)

2. 注意報発令の根拠

- 1) 令和3年3月3日に、県内のマルチ栽培 10 圃場（早生品種）を調査した結果、一次感染株の平均発生株率は 0.07%（平年 0.26%）で、平年よりやや少なかった。しかし、一部の圃場では、二次感染株がみられた。
- 2) 同日に、県内の露地栽培 10 圃場（中晩生品種主体）を調査した結果、一次感染株の平均発生株率は 0.39%（平年 0.25%）で、平年よりやや多かった。
- 3) 佐賀地方気象台が発表した佐賀県の週間天気予報（3月4日 11時発表）によると、3月4日～7日は曇雨天が予想されている。また、福岡管区気象台が2月25日に発表した九州北部地方の1か月予報では、向こう1か月の天候は平年に比べ曇りや雨の日が多いと予想されている。以上のことから、本病菌による感染リスクが高まっている。

3. 防除上注意すべき事項

1) 一次感染株の抜き取り徹底

一次感染株は周囲への伝染源となるため、各圃場において**発生状況を必ず観察**し、発生を認めた場合には**直ちに抜き取る**。抜き取った株は圃場に放置せず適切に処分する。

2) 薬剤防除による二次伝染の予防

最新の気象予報や図 1 を参考に、薬剤による**予防散布を徹底**する。降雨等により圃場条件が悪く、乗用管理機で防除できない場合には、動力噴霧器による手散布で対応する。

防除対策の詳細については、「佐賀県病害虫防除のてびきく麦類・野菜・花き・飼料作物」を参照する(p260~263)。

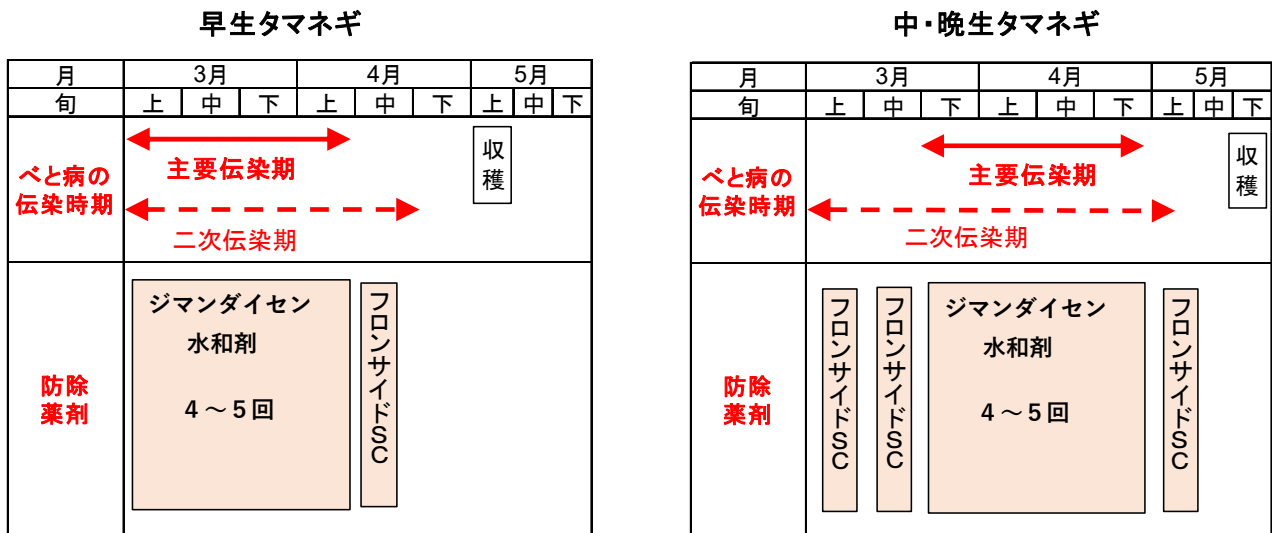


図1 タマネギべと病の伝染時期と薬剤防除体系(例)

【ジマンダイセン水和剤散布に当たっての留意事項(全作型共通)】

- (1)10 日間隔での 4~5 回散布を基本とするが、前回散布の 7 日後以降に曇雨天が予想される場合は、前倒して散布を行う。防除効果を安定させるため、散布から降雨までの期間を、少なくとも 24 時間は確保する。
- (2)本剤には、展着剤として、ミックスパワー、まくぴか、ニーズ、ササラのいずれかを加用する。

連絡先：佐賀県農業技術防除センター 病害虫防除部

〒840 2205 佐賀市川副町南里 1088

TEL (0952)45 8153 FAX (0952)45 5085

ホームページアドレス <https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00321899/index.html>

